

I C T を活用した教育実証事業研究大会 開 催 要 領



日 時 平成 27 年 11 月 25 日 (水)
場 所 西条市立神戸小学校

西条市・西条市教育委員会

目 次

I	実施要領	1
II	会場案内図	2
III	公開授業	3
1	授業デザイン（公開授業1）	4～12
2	授業デザイン（公開授業2）	13～20
IV	モデル校の紹介	21
V	西条市における取組	27
VI	小中学校ICT教育推進事業	
1	事業の概要	29
2	整備の内容	30
3	校務の情報化について	31
4	ICT支援員について	40
5	今後の取組について	42
VII	新たな取組	43

平成27年度文部科学省委託事業

「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」

I 実施要領

- 1 大会名 ICTを活用した教育実証事業研究大会
- 2 主 題 「21世紀型スキルを培うための効果的なICTの活用」
- 3 目 的 西条市における教育の情報化の取組の一端を公開することで教育の情報化についての理解を深めるとともに、活発な情報交換を行うことで、学校教育の発展に寄与することを目的とする。
- 4 主 催 西条市、西条市教育委員会
- 5 後 援 文部科学省、愛媛県教育委員会、愛媛県小中学校長会
- 6 場 所 西条市立神戸小学校 西条市洲之内甲200番地1
- 7 日 時 平成27年11月25日（水曜日）9時50分から受付開始
- 8 日 程

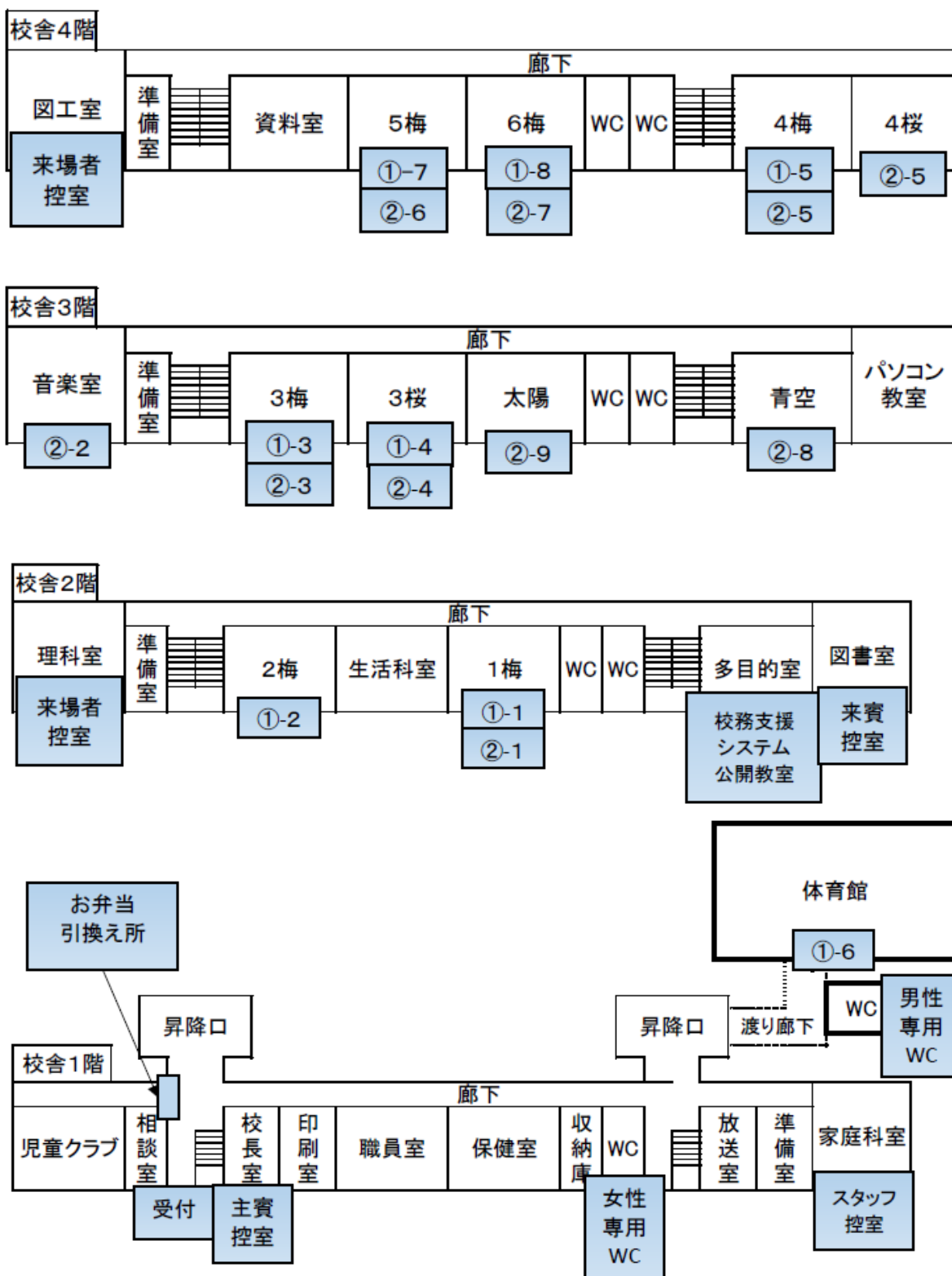
9:50 10:15 11:00 11:15 12:00 13:10 13:30 14:15 15:00 15:10 16:40 16:45

受付	公開授業 ①	移動	公開授業 ②	昼食	全 体 会						
					開会 行事	授業 講評	施策 説明	休憩	基調講演	閉会 行事	

<全体会プログラム>

開会行事	主催者挨拶	西条市 西条市教育委員会	市長 青野 勝 教育長 菊池 篤志
授業講評	国立大学法人東京学芸大学教育学部	教授 川崎 誠司 氏	
施策説明	文部科学省生涯学習政策局情報教育課	課長 磯 寿生 氏	
基調講演	国立大学法人鳴門教育大学大学院	准教授 藤村 裕一 氏	

II 会場案内図



※ 各教室に付された番号は、次ページの公開授業の番号と一致します。

Ⅲ 公開授業

1 公開授業① 10:15～11:00

番号	学年・組	教科等	単元名	授業者	活用する ICT 等
①-1	1年梅組	国語	じどう車くらべ	高木 さなえ	電子黒板、書画カメラ
①-2	2年梅組・ 青空	図工	ストロー ピョコ パタ	白石 智子	電子黒板、書画カメラ
①-3	3年梅組	道徳	命を大切に「いただい たいのち」	青野 美加	電子黒板、書画カメラ
①-4	3年桜組	理科	明かりをつけよう	平山 綾	電子黒板、書画カメラ
①-5	4年梅組	算数	もとの数はいくつ	原田 臣士	電子黒板、タブレットPC
①-6	4年桜組	体育	マット運動	堀川 雄司	タブレットPC、プロジェ クタ
①-7	5年梅組	家庭	食べて元気に	松井 八重	電子黒板、タブレットPC
①-8	6年梅組・ 6年青空・ 太陽	社会	新しい日本、 平和な日本へ	吉岡 健二 伊東 慶子 谷 慎一	電子黒板

2 公開授業② 11:15～12:00

番号	学年・組	教科等	単元名	授業者	活用する ICT 等
②-1	1年梅組	生活	じぶんでできるよ	高木 さなえ	書画カメラ
②-2	2年梅組	音楽	音のスケッチ	越智 真知子	電子黒板、書画カメラ
②-3	3年梅組	国語	すがたをかえる大豆	青野 美加	電子黒板、書画カメラ
②-4	3年桜組	算数	何倍でしょう	平山 綾	電子黒板、タブレットPC
②-5	4年梅組・ 桜組	総合	水の都を守る	原田 臣士 堀川 雄司	電子黒板、タブレットPC
②-6	5年梅組	社会	わたしたちの生活と 工業生産	松井 八重	電子黒板、書画カメラ
②-7	6年梅組	学活	薬物乱用をしない話 夢をかなえるために	吉岡 健二 岩城 泉	電子黒板
②-8	6年青空・ 太陽	国語	『鳥獣戯画』を読む この絵、私はこう見る	伊東 慶子	電子黒板、タブレットPC
②-9	2年青空	算数	かけ算(2) さがしてみよう	谷 慎一	パソコン、液晶テレビ

※ 上記の内容は、変更がある場合がございます。

※ 上記の「番号」は、前ページの会場案内図の番号と一致します。

授業デザイン

平成27年11月25日(水) 公開授業①-1 1梅教室			
1年	国語	じどう車くらべ	西条市立神戸小学校 高木 さなえ

本時のねらい 7/12
はしご車の「しごと」と「つくり」を調べ、まとめる。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
電子黒板、デジタル教科書：部分や全体を拡大提示することで、興味・関心を高める。 書画カメラ：ワークシートを提示し、発表することで共有化する。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器（コンテンツ等）→ポイント、活用効果	
本時の展開	導入	5	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習を想起し、課題をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板（デジタル教科書） →はしご車の一部を表示することで、本時の学習に興味をもたせることができる。 →部分から全体を提示し、課題をつかませることができる。
	展開	40	<ul style="list-style-type: none"> ○「しごと」について考える。（ペア→全体） ○「つくり」について考える。（ペア→全体） ○「しごと」と「つくり」をワークシートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板（デジタル教科書） →「しごと」と「つくり」に分けて書くワークシートを提示することで、共有化することができる。 ・書画カメラ →ワークシートを提示し、説明することで共有化することができる。
	まとめ	45	<ul style="list-style-type: none"> ○「きらり」を書き、学習を振り返る。 	

評価の観点	興味・関心を高める活用
-------	-------------

<<メモ欄>>

授業デザイン

平成27年11月25日(水) 公開授業①-2 2梅教室			
2年	図工	ストロー ピョコ パタ	西条市立神戸小学校 白石 智子

本時のねらい 1/4
ストローを使って動く仕組みの作り方を理解して、基本となる仕組みを作り、動かしながら楽しく遊べるものを考える。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
書画カメラ：動く仕組みの作り方や動き方を示し、理解を深める。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器 (コンテンツ等) →ポイント、活用効果
本時の展開	5	○教科書の写真や教師の提示物を見て、課題をつかむ。	・電子黒板、書画カメラ →提示物などを大きく映し出すことで、動く仕組みがどのように作られているか、どのように動くかの理解を深めることができる。
		ストローでうごくしくみをつくって、たのしくあそべるものを考えよう。	
	40	○動く仕組みの作り方を理解する。 ○仕組みを作る。 ○作った仕組みを動かしながら、何を作るか考える。(ペア)	・書画カメラ →ストローで作った仕組みの細部を拡大して提示することで、作り方のポイントが分かる。 →児童の作ったものを書画カメラで紹介することで、アイデアを共有することができる。
まとめ	45	○学習を振り返る。	

評価の観点	課題を明確につかむ力を高める活用
-------	------------------

《メモ欄》

授業デザイン

平成27年11月25日（水） 公開授業①－3 3梅教室			
3年	道徳	命を大切に「いただいたいのち」	西条市立神戸小学校 青野 美加

本時のねらい
命の尊さを知り、全ての命あるものを大切にしようとする心情を育てる。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
プロジェクター・書画カメラ：写真や挿絵を提示することで視覚に訴え、ねらいとする価値を共通理解できる。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器（コンテンツ等）→ポイント、活用効果
本時の展開	導入	○命が大切だと思ったことを思い出し、発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">命の大切さについて考えよう。</div>	・プロジェクター →プレゼンソフトで作成した写真を提示することにより、ねらいとする価値を共通理解でき
	展開	○「いただいたいのち」を読んで話し合う。（個人→グループ） ○「命の大切さ」について話し合う。 ○「命の大切さ」について自分を振り返る。	・プロジェクター →挿絵を拡大提示することで視覚に訴え、ねらいとする価値について考えることができる。 ・プロジェクター →今、何をしているかといった学習活動や発問を簡単な表現で視覚化することで見通しをもつことができる。 ・書画カメラ →プリントに書いた子どもの考えを拡大提示し、話し合いを深める手立てとする。
	まとめ	○教師の説話を聞く。	

評価の観点	興味・関心を高める活動
-------	-------------

《メモ欄》

授業デザイン

平成27年11月25日（水） 公開授業①-4 3桜教室			
3年	理科	明かりをつけよう	西条市立神戸小学校 平山 綾

本時のねらい 1 / 8
乾電池と豆電球及びソケット付き導線を使い、豆電球に明かりがつくつなぎ方を話し合いながら、豆電球に明かりをつけることへの意欲・関心を高める。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
書画カメラ：ワークシートを拡大掲示することで、共有化する。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器・コンテンツ等 →ポイント、活用効果
本時の展開	導入	○本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">豆電球に明かりがつくつなぎ方を調べよう。</div>	
	展開	○豆電球に明りがつくつなぎ方を調べ、ワークシートに書く。 （グループ） ○明かりのつくつなぎ方とつかないつなぎ方を比べ、回路について知る。（グループ→全体）	・書画カメラ →児童のワークシートを拡大掲示することで、共有化する。
	まとめ	○「きらり」を書き、学習を振り返る。	

評価の観点	思考力を高める活用
-------	-----------

《メモ欄》

授業デザイン

平成27年11月25日(水) 公開授業①-5 4梅教室			
4年	算数	もとの数はいくつ	西条市立神戸小学校 原田 臣士

本時のねらい 2/2
数量の関係を図に表し、計算の意味を考えて「順にもどす」思考法を用い、既習の計算技能を生かして問題解決する。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
協働学習支援システム：ペアで話し合った考え方を全体で共有するために、児童用タブレットPCと電子黒板を連携させ、それぞれの考えを比較する。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器（コンテンツ等）→ポイント、活用効果
本時の展開	5	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習を想起し、課題をつかむ。 ・分かっていることと求めることを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 図にかいて、「順にもどす」と何算になるかを考えながら計算しよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板（デジタル教科書） →場面絵を提示することで、学習の見通しをもつことができる。
	40	<ul style="list-style-type: none"> ○問題を図に表し、「順にもどして」考える仕方で説明する。 (ペア→全体) ○別の問題についても考える。 (ペア→全体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板（協働学習支援システム） →拡大して全員に見せながら説明することで、共有化することができる。
	45	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートに「きらり」を書き、学習を振り返る。 	

評価の観点	思考力を高める活用
-------	-----------

《メモ欄》

授業デザイン

平成27年11月25日(水) 公開授業①-6 体育館			
4年	体育	マット運動	西条市立神戸小学校 堀川 雄司 谷 慎一

本時のねらい 6/7
仲間と協力して技のきばえを高めたり、連続技のスムーズなつながぎを考えたりすることができる。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
タブレットPC：一つ一つの技や組み合わせ技を撮影し合い、技のポイントができているか確認したり、グループ内で学び合ったりすることができる。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器・コンテンツ等 →ポイント、活用効果
本時の展開	導入	10	<ul style="list-style-type: none"> ○準備運動(えがお体操) ○本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">発表会に向け、連続技のスムーズなつながぎができるよう練習しよう。</div>
	展開	40	<ul style="list-style-type: none"> ○前転、後転、開脚後転、側方倒立回転の練習をする。 ○2つの技を組み合わせて練習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPC →グループ内で撮影し合い、自分のイメージとの違いに気付いたり、グループ内で学び合ったりすることができる。 ・タブレットPC →技のつながぎの部分を中心に撮影し、スムーズなつながぎができるようにグループ内で学び合うことができる。
	まとめ	45	<ul style="list-style-type: none"> ○整理運動 ○学習を振り返る。

評価の観点	技能を高める活用
-------	----------

<<メモ欄>>

授業デザイン

平成27年11月25日（水） 公開授業①ー7 5梅教室			
5年	家庭科	食べて元気に	西条市立神戸小学校 松井 八重

本時のねらい 2/12
毎日の食事に関心を持ち、食品に含まれる栄養素の主な働きを理解する。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
タブレットPC：瞬時に提示して比較検討することで、それぞれの食品の栄養的な特徴に気付くことができる。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器（コンテンツ等）→ポイント、活用効果
本時の展開	導入	○本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">食品にふくまれる栄養素を考えて、グループに分けよう。</div>	・電子黒板（写真） →給食の様子や給食の献立の写真から学習課題をつかむことができる。
	展開	○食品に含まれる栄養素の主な働きについて知る。 ○食品をグループに分ける。（グループ） ○5大栄養素についての理解を深める。	・電子黒板、タブレットPC（協働学習支援システム） →給食の献立をグループ分けし、瞬時に提示して比較検討することができる。 ・タブレットPC →グループごとに自分たちのペースで問題に取り組むことができる。
	まとめ	○学習を振り返る。	

評価の観点	知識・理解を高める活用
-------	-------------

《メモ欄》

授業デザイン

平成27年11月25日（水） 公開授業①－8 6梅教室			
6年	社会	新しい日本、平和な日本へ	西条市立神戸小学校 吉岡 健二 伊東 慶子

本時のねらい 1/5
日本国憲法の制定について調べ、戦後我が国が民主的な国家として出発したことが分かる。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
電子黒板、デジタル教科書：教材を提示して資料の共有化を図り、課題を明確につかむことができる。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器（コンテンツ等）→ポイント、活用効果
本時の展開	導入	○前単元までの学習を振り返り、本時の学習の仕方について知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">戦後、日本国憲法の制定によってどのような国を目指したのだろうか。</div>	・電子黒板（デジタル教科書） →当時の人々の思いや様子を振り返ることで資料の共有化を図り、課題の確認ができる。
	展開	○戦後、自分たちならどのような新憲法を作るか考える。（個人→グループ） ○各グループから出された憲法案について検討する。（全体） ○戦後、民主的で平和主義的な憲法が制定されたことについて調べ、戦後我が国が民主的な国家として出発したことが分かる。（全体）	・電子黒板（プレゼン資料） →新しい憲法の話から憲法の考え方や柱について知り、旧憲法と比較検討することができる。
	まとめ	○本時の学習を振り返る。	

評価の観点	課題を明確につかむ力を高める活用
-------	------------------

《メモ欄》

授業デザイン

平成27年11月25日（水） 公開授業②-1 1梅教室			
1年	生活科	じぶんでできるよ	西条市立神戸小学校 高木 さなえ

本時のねらい 6/12
家の人にしてもらっていることの中から、自分でできそうなことを選び、挑戦する計画を立てる。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
書画カメラ：ワークシートや写真などを拡大提示することで、共有化する。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器（コンテンツ等）→ポイント、活用効果
本時の展開	導入	○前時の学習を想起し、課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">じぶんでできそうなことを きめよう。</div>	・書画カメラ →前時までに取り組んだワークシートを提示し、課題をつかませることができる。
	展開	○体験や計画について話す。（ペア→全体） ○「じぶんでできそうなこと」について考える。（ペア→グループ） ○「えがおだいさくせん」の計画をチャレンジカードに書く。	・書画カメラ →写真などを提示し、自分にできることを考える際の参考にすることができる。 ・書画カメラ →チャレンジカードを提示し、説明することで共有化することができる。
	まとめ	○「きらり」を書き、学習を振り返る。	

評価の観点	課題を明確につかむ力を高める活用
-------	------------------

《メモ欄》

授業デザイン

平成27年11月25日（水） 公開授業②-2 音楽室			
2年	音楽	音のスケッチ	西条市立神戸小学校 越智 真知子

本時のねらい 2/3
リズムとかけ声を合わせて、友達と楽しく演奏する。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
デジタル教科書：子どもたちから出たリズムやかけ声を例として書き込み、共有化できる。書き込み方や、組み合わせ方を提示することで合わせる方法が分かり、発展性をもたせることができる。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器（コンテンツ等）→ポイント、活用効果
本時の展開	導入	○グループでリズムを打ったり、かけ声をかけたりしながら、課題をつかむ。	・電子黒板（デジタル教科書）、書画カメラ →全員でリズム練習をしながら課題をつかむことができる。
	10	友だちとリズムやかけ声を合わせながらえんそうしてみよう。	
	展開	○ワークシートに書き込んだリズムやかけ声を組み合わせる。 ○グループで太鼓のリズムとかけ声の組み合わせを決めて打つ。	・電子黒板（デジタル教科書）、書画カメラ →リズムやかけ声を書き示すことで、組み合わせの方法や練習の仕方の共有化ができる。また、組み合わせの面白さを感じ取ることで意欲的な創作活動ができる。 →お互いの演奏パターンを見ながら練習することで、組み合わせを変えたり工夫したりしやすくなる。
35			
まとめ	45	○学習を振り返る。（発表）	・電子黒板・書画カメラ →演奏パターンを提示することで、聴こえる音楽を視覚的にとらえることができる。

評価の観点	表現力を高める活用
-------	-----------

《メモ欄》

授業デザイン

平成27年11月25日(水) 公開授業②-3 3梅教室			
3年	国語	すがたをかえる大豆	西条市立神戸小学校 青野 美加

本時のねらい
「中」の各段落に書かれている「食べる工夫」と「食品」を整理し、説明の仕方の工夫に気付く。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
デジタル教科書：本文を拡大提示し、キーワードを見つけやすくする。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器（コンテンツ等）→ポイント、活用効果
本時の展開	導入	○本時の課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板（画像「豆腐ができるまで」） →「中」の部分に書いてあることを具体的にイメージしやすくする。
	5	「食べる工夫」と「食品」の説明のしかたの工夫をまとめよう。	
	展開	<ul style="list-style-type: none"> ○各段落の内容を表に整理する。 ○段落ごとの「食べる工夫」「食品」を確かめる。 ○説明のしかたの工夫をワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板（デジタル教科書） →「おいしく食べる工夫」と「出てきた食品」を書き出す手立てとする。 ・電子黒板（デジタル教科書） →段落ごとの「工夫」と「食品」を確かめるために、本文を拡大提示し、キーワードを見つけやすくする。 ・書画カメラ →ワークシートを見せ合い、共有する。
40			
まとめ	45	○学習を振り返る。	

評価の観点	知識・理解力を高める活用
-------	--------------

《メモ欄》

授業デザイン

平成27年11月25日（水） 公開授業②-4 3桜教室			
3年	算数	何倍でしょう	西条市立神戸小学校 平山 綾

本時のねらい 1 / 2
a 倍の b 倍を求める問題を、2通りの考え方で解決しようとする。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
電子黒板（デジタル教科書）：問題の挿絵を見ることで、場面をイメージしやすくなる。 タブレットPC：必要なときにヒントを見て、話し合いに生かすことができる。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器・コンテンツ等 →ポイント、活用効果
本時の展開	導入	○問題を読み、課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">2通りの考え方で、問題をとこう。</div>	・電子黒板（デジタル教科書） →問題の挿絵を見ることで、場面をイメージしやすくなる。
	展開	○□の a 倍の b 倍を求める問題を、2通りの方法で考え、説明し合う。 （グループ→全体） ○別の問題についても考える。 （グループ）	・タブレットPC →グループごとに必要なときにヒントを見て、話し合いに生かすことができる。 ・電子黒板（デジタル教科書） →動画を使って、考え方を確認できる。
	まとめ	○「きりり」を書き、学習を振り返る。	

評価の観点	課題を明確につかむ力を高める活用
-------	------------------

《メモ欄》

授業デザイン

平成27年11月25日(水) 公開授業②-5 4梅・4桜教室			
4年	総合的な学習の時間	水の都を守る	西条市立神戸小学校 原田 臣士 堀川 雄司

本時のねらい 13/15
他のチームの発表と比べたり、助言を生かしたりしながら、自分たちの発表が、相手に伝わる発表になっているかどうか考え、提案を見直すことができる。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
タブレットPC：撮影、再生することで、その時の様子を見て確認することができる。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器（コンテンツ等）→ポイント、活用効果
本時の展開	導入	○本時の活動を確認する。 発表を見せ合って、自分たちの提案を見直そう。	・電子黒板 →活動の流れを提示することで、見通しをもつことができる。
	展開	○ペアチームと発表の様子を見せ合う。 ・ペアチームは発表の様子を撮影し、参考にしたい点や改善点などをアドバイスする。 ○自分たちのチームの発表について、改善したらよいところを話し合う。 ・撮影された動画から ・書いてもらったアドバイスから	・タブレットPC →動画を撮影し、その時の様子を繰り返し見て確認することができる。
	まとめ	○学習を振り返る。	

評価の観点	表現力を高める活用
-------	-----------

《メモ欄》

授業デザイン

平成27年11月25日（水） 公開授業②-6 5梅教室			
5年	社会	わたしたちの生活と工業生産	西条市立神戸小学校 松井 八重

本時のねらい 17/21
我が国の工業生産の現状と課題について調べたことを、資料を活用しながら発表することができる。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
デジタル教科書、書画カメラ：写真やグラフ、地図などの資料を提示することによって、資料から得られる情報を共有しやすくする。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器（コンテンツ等）→ポイント、活用効果
本時の展開	導入	○前時までの学習を想起し、課題をつかむ。	・電子黒板、書画カメラ →前時の発表の様子や活用した資料を提示することで、課題を確認できる。
	5	我が国の工業生産にどんな課題があるかを考えよう。	
	展開	○グループごとに、写真やグラフ、地図などの資料を提示しながら発表する。 ○発表を聞いて、質問や思ったことを発表し合う。	・電子黒板、書画カメラ →資料を提示しながら、資料から読み取れることや、自分の考えを発表することで共有化できる。
40			
まとめ	45	○学習を振り返る。	

評価の観点	思考力を高める活用
-------	-----------

《メモ欄》

授業デザイン

平成27年11月25日（水） 公開授業②-7 6梅教室			
6年	学級活動	薬物乱用をしない話 ー夢をかなえるためにー	西条市立神戸小学校 吉岡 健二 岩城 泉

本時のねらい 1/1
薬物の乱用が心身の健康に深刻な影響を及ぼすことを知り、自分の健康や行動に責任をもつことの大切さを理解し、自分の夢の実現のために、これから、どのような生活習慣を身に付けていくかを考える。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
電子黒板：教材を提示して資料の共有化を図り、知識や理解を高めることができる。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器（コンテンツ等）→ポイント、活用効果
本時の展開	導入	○既習事項を確認し、薬物にはどのようなものがあるかを話し合い、課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">体に害のある薬物について知り、ただしい生活習慣について考えよう。</div>	・電子黒板（プレゼン資料） →薬物の種類を示すことで、学習の見通しをもつことができる。
	展開	○医薬品の種類や子どもが使ってはいけない薬物を知る。 ○タバコには有害物質が多く含まれていること、主流煙と副流煙があることを知り、感想を交換する。 （個人→グループ→全体） ○誘われたときの断り方を考える。 （グループ・ロールプレイ）	・電子黒板（動画） →血管収縮の動画などから、具体的な体の変化、たばこの煙の害について知ることができる。
	まとめ	○学習を振り返る。	

評価の観点	知識や理解を高める活用
-------	-------------

《メモ欄》

授業デザイン

平成27年11月25日（水） 公開授業②－8 青空教室			
6年	国語	『鳥獣戯画』を読む この絵、私はこう見る	西条市立神戸小学校 伊東 慶子

本時のねらい 1/6
絵画に関心を持ち、学習の見通しをもつ。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
電子黒板・iPad：拡大提示機能を活用して、学習への関心・意欲を高めるとともに、絵のよさを見つけやすいように支援する。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器（コンテンツ等）→ポイント、活用効果
本時の展開	導入	○一枚の絵を提示し、題名を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">「鳥獣戯画」の絵のよさを見つけよう。</div>	・電子黒板（デジタル教科書） →絵を提示し、気付いたことを交流させたり、題名を考えさせたりすることで、学習への関心を高めることができる。
	5	○「鳥獣戯画」の絵のよさに○をつけながら、感想を交流する。 ○教材文を読み、自分の読み取りと比べる。	・電子黒板 →絵を拡大提示し、絵のよさに○をつけることで、感想を共有化することができる。 ・iPad →絵を取り込み、拡大機能を使って、絵のよさを見つけることができる。
	40	○学習計画を知る。	・電子黒板（デジタル教科書） →朗読機能を使って、音読の模範を示すことができる。その間、教材文の読み取りを支援することができる。
まとめ	45	○学習を振り返る。	

評価の観点	興味・関心を高める活用
-------	-------------

《メモ欄》

授業デザイン

平成27年11月25日(木) 公開授業②-9 太陽教室			
2年	算数	かけ算(2) さがしてみよう	西条市立神戸小学校 谷 慎一

本時のねらい 15/15
身の回りにあるかけ算の場面を探して、日常生活と算数を結びつけることができる。
主に活用する ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい
デジタル教科書：拡大提示を活用し、視覚的にとらえ、かけ算への導きをしやすいようにする。 デジタルコンテンツ：自作のプレゼン資料を活用し、問題を提示しながら関心・意欲を高める。 eライブラリや学習探検ナビを活用し、かけ算の復習や定着を図る。

学習の流れ	分	主な学習活動と内容	ICT 機器 (コンテンツ等) →ポイント、活用効果
本時の展開	10	<ul style="list-style-type: none"> ○既習の学習内容(かけ算)の復習をする。 ○本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> みのまわりのものを見て、かけざんであらわそう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、液晶テレビ(学習探検ナビ) →ランダムに提示される式を見て解答することで前時の復習ができる。 ・パソコン、液晶テレビ(デジタル教科書) →本時の学習内容(さがしてみよう)の画面を見て、課題をつかむことができる。
	40	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の場面から、かけ算に結びつけて式をつくる。 ○発展的な問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、液晶テレビ(プレゼン資料) →画面上にペン書きすることで、理解を深めることができる。 ・パソコン、液晶テレビ(eライブラリ) →様々な問題に取り組むことで、かけ算の基礎・応用力を伸ばすことができる。正答を確認し、間違っている部分を修正しながら問題に取り組むことができる。
	45	○学習を振り返る。	

評価の観点	興味・関心を高める活用
-------	-------------

《メモ欄》

IV モデル校の紹介

西条市立神戸小学校


所在地 〒793-0053
 愛媛県西条市洲之内甲 200 番地
 学校長 藤原 正三（平成 27 年度～）
 児童数 208 名（H27.11.1 現在）
 学級数 10 学級（うち特別支援 2 学級）
 教職員数 15 名
 電話番号 0897-56-2744
 学校HP <http://saijo-kambe-e.esnet.ed.jp/>



■モデル校における実証期間

第 1 期 平成 25 年度～ 26 年度 電子黒板・校務支援システム・ICT 支援員等
 第 2 期 平成 27 年度～ 28 年度 タブレット PC ほか

■モデル校における取組内容

<p>1 電子黒板</p>  <p>普通教室に電子黒板・書画カメラ・デジタル教科書等を設置</p>	<p>2 校務支援システム</p>  <p>児童名簿を基に、成績処理・出欠席・指導要録・通知表などを電子化</p>
<p>3 タブレット PC</p>  <p>授業時に児童が使用できるタブレット PC 40 台を整備</p>	<p>4 ICT 支援員</p>  <p>ICT の利活用を支援する ICT 支援員を配置（1 日 8 時間、月 2～4 回）</p>



「故郷を愛し、心豊かに生きる神戸っ子の育成」

今日が楽しく明日が待ち遠しい学校

笑顔と活力のある美しい学校



**学ぶ意欲と
確かな学力の定着と向上**

やる気
いっぱいの子

- 「学びあい学習」やICT活用の実践
- 読書や言語活動の充実
- 家庭学習の習慣化や復習の徹底



**温もりのある
楽しい学校づくりの推進**

思いやり
いっぱいの子

- つながり支え合う仲間づくり
- 道徳教育や体験活動の充実
- 自他の生命の尊重

**忍耐力の育成と
規則正しい生活習慣**

元気
いっぱいの子

- 基本的な生活習慣の徹底
- 体力づくりや健康教育の充実
- 規範意識の醸成

信頼協力

連携支援



学校

学校評価
情報発信
連携・協力



家庭

あいさつ・家庭学習
早寝、早起き、朝ご飯
基本的な生活習慣の定着

支える愛情

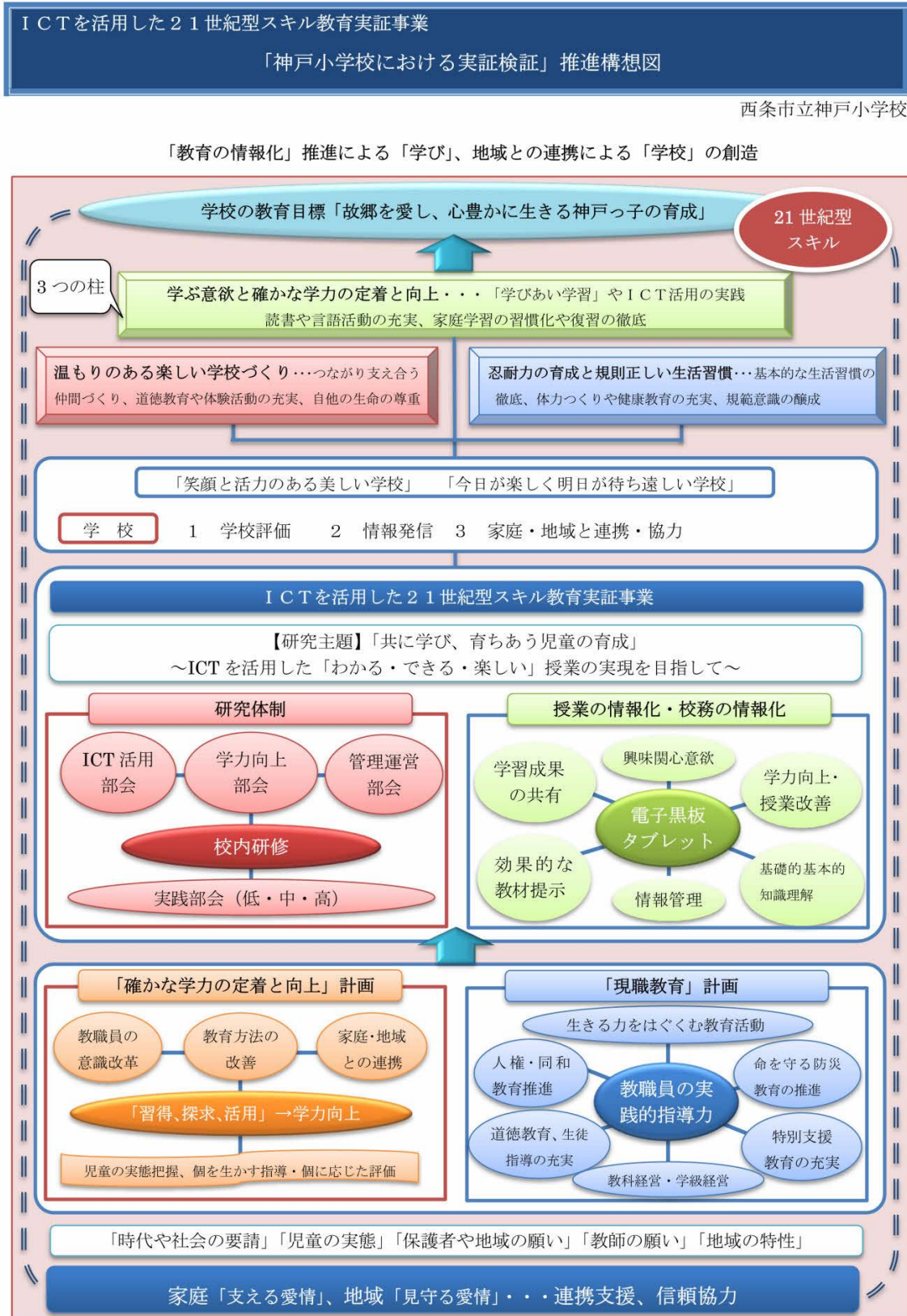


地域

体験活動等
見守り活動・交流
関係諸機関との連携

見守る愛情

(抜粋) 神戸小学校 学校経営方針「ICT推進構想図」



(抜粋) 神戸小学校 学校経営方針「情報教育計画」

神戸小学校情報教育計画

1 目 標

児童一人一人が ICT 機器に触れ、慣れ、親しみ、適切に活用することによって、情報モラルを身に付け、情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する能力を育成する。

2 基本方針

- (1) 自己教育力、問題解決能力、表現力、コミュニケーション能力などを育てるために、ICT 機器を利活用した効果的な学習指導を実践する。
- (2) 適切な情報や情報手段を選択し、活用する基礎的な能力を養うとともに、情報モラルを身に付けさせる。
- (3) すべての教職員が、ICT 機器を利活用したわかりやすい授業の実現のための研修の充実を図る。

3 実践内容

- (1) ICT 機器を利活用した効果的な学習指導の実践
 - ア ICT 機器を利活用する目的と意義を明確にし、特性を活かした学習指導を行う。
 - イ 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の年間指導計画との関連を図った指導計画を立てる。
- (2) 適切な情報活用能力と情報モラルの育成
 - ア 課題や目的に応じて ICT 機器を適切に利活用し、必要な情報を主体的に収集・判断・表現する能力の育成に努める。
 - イ 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考える力をはぐくむ授業を推進する。
 - ウ 情報化のマイナスの部分に留意し、人間性を重視する観点に立った指導を行い、情報に対する正しい判断力と情報モラルを育成するよう努める。
- (3) 教職員の研修の充実
 - ア 教職員の適切な情報や情報手段の選択能力を高めるための研修を実践する。
 - イ 教職員の情報モラルの向上を目的とした研修を実践する。
 - ウ 各種ソフトウェアや電子黒板、タブレット等の ICT 機器を利活用した学習指導方法についての研修をし、授業の情報化を図る。
 - エ 教師が校務で ICT 機器を積極的に利活用し、その利便性を体得し、情報交換等を通して校務の情報化を図る。
 - オ ICT 支援員と連携し、ICT 機器を活用した授業構成を検討し、学習内容の基礎基本の定着や発展的な学習を行いながら、わかりやすい授業に努める。

神戸小学校 タブレットの使い方

お おとさないようにしっかりもちましょう。

か かってなことをしないようにしましょう。

し ^{せんせい はなし き} しずかに先生の話を聞きましょう。

ば ^{じぶん しゅっせきばんごう} 自分の出席番号のタブレットをつかきましょう。

こ ^き こわさないように気をつけてつかいましょう。

ペンは、こわれやすいので、気をつけて使いましょ。

1・2年生は、先生にタブレットをとってもらいましょう。

でんげんの入れ方

1 裏返し (4秒くらい)

カバーのあけ方

1 2 3 4 5

1と2のじしゃくをくっつけましょう。

シャットダウン

1 裏返し (4秒くらい)

2 3 4

キーボード OFFにしましょう。

かたづけ方

タブレットのむきに気をつけましょう。

ペンがささっているか、かくにんしましょう。

タブレットパソコン 利用のマナー

基本的な使い方について

- ①タブレットパソコンは、大切に使いましょう。
- ②必ず両手で持ちましょう。
(移動する時は、胸に抱きかかえて、片手で下を支えましょう。)
- ③パソコンの反応が遅いときもありますが、がまんして待ちましょ
う。
- ④ペンもペン先の部分も大切です。なくさないようにしましょう。
- ⑤画面は強く押さず、軽く押しましょう。



授業中の使い方について

- ①先生の指示があるまで、勝手にさわったり、動かしたりしない。
- ②クリックしても動かない時は、右上の「×」で初めに戻り、やり
なおしましょう。それでもダメなときは、先生を呼びましょう。
- ③インターネットは、先生の指示があるまで使用しない。
- ④こまった時は、先生を呼びましょう。

片付けについて

- ①保管庫では、自分の番号のところに入れましょう。
- ②ACアダプタにしっかりと接続しましょう。

やってはいけないこと

- ①タブレットを落としたり、たたいたりしない。
- ②えんぴつやペンで、タブレットの画面やキーボードをつつかない。
- ③タブレットに自分で持ってきたメモリーカードを入れない。
- ④管理番号のラベルをはがさない。
- ⑤先生の指示があるまで、データの保存をしない。
- ⑥プロパティや設定を勝手にいじったり、変更しないようにしまし
よう。
- ⑦インターネットで、プログラムのダウンロード、
掲示板、ブログ、の書き込みは絶対しない。メール
も使用しない。



タブレットは、みんなのものです。みんながきれいな
状態で次の人が使えるように、ルールを守りましょう！

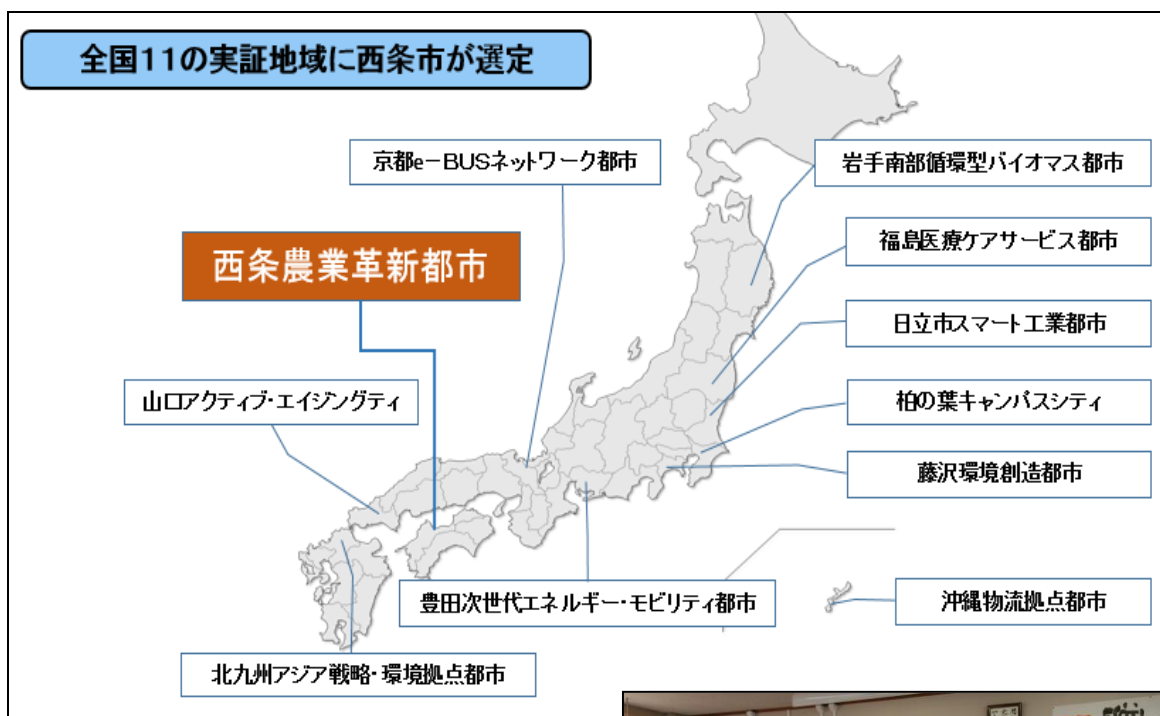
V 西条市における取組

西条市における教育の情報化は、平成22年度「情報教育と校務の情報化に関する懇談会」を皮切に、同年度に市内の教職員と教育委員会事務局らで構成する「西条市立小・中学校情報化推進委員会（会長：十河 格 西条市立神戸小学校 前校長）」を設立し、現在までこれを中心的な組織として多くの取組・研究を行なってきました。

これらの取組は全て、これまでの学校文化の良さを継承しつつこれを見直すこと、いわば「教育の革新」を図るもので、子どもたちの学ぶ意欲と確かな学力の向上、コミュニケーション能力の育成、学びあい、人間的なふれあいを確保するためのツールとして幅広くICTの活用を推進してきました。

平成25年度からは日本経団連との「未来都市モデルプロジェクト」の教育分野（※）の取組により、西条市立神戸小学校をモデル校とした教育の情報化及び校務の情報化の取組が開始されるなど、市内全域で教育の情報化が進みつつありました。

■未来都市モデルプロジェクト（モデル校：西条市立神戸小学校）



※「未来都市モデルプロジェクト」の取組は、農業分野（西条農業革新都市）と合わせ、教育分野の取組も実施され、平成25年6月に、日本経団連（住友化学株）から、電子黒板類5セットが寄贈されました。



VI 小中学校 ICT教育推進事業

モデル校の神戸小学校をはじめとし、市内におけるモデル的な取組が一定の成果を挙げたことから、市内全ての小・中学校にモデル校と同様のICT環境（電子黒板類、校務支援システム類、ICT支援員等）の整備・配置を行うことを決定し、これを「小中学校ICT教育推進事業」として、平成27年度から平成28年度までの概ね2年間をかけ、ICTにかかる整備を開始したところです。

1 事業の概要

- 市内全ての小・中学校の普通教室等に大型の電子黒板等を設置し、より分かりやすく質の高い授業を行います。
- 校務支援システムを導入し、校務の効率化を図ることで、子どもたちと向き合う時間の確保に努めます。
- ICT支援員を巡回配置し、先生らの利活用を総合的にサポートします。



デジタルとアナログ、それぞれの良さを使い分けながら、より充実したわかりやすい授業や質の高い教育を行ないます。

より豊かで充実した教育環境を構築しながら、西条市の将来を担う子どもたちの「生きる力」を育ててまいります。

2 整備の内容

■ハードウェア類

<p>普通教室・理科室 (小学校25校=287室)</p>  <p><基本構成></p> <ul style="list-style-type: none"> ■電子黒板本体 ■書画カメラ ■電子黒板用パソコン ■ブルーレイレコーダー兼地デジチューナー 	<p>特別支援教室 (小学校25校=71教室)</p>  <p>※iPad本体は対象児童数(183名=183台)</p>
<p>音楽室 (小学校25校=25教室)</p> 	<p>屋内運動場 (小学校25校=25室)</p>  <p>※5000lm</p> <p><共通事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ■当該機器類は、既設の校内LANに接続して使用する。(屋内運動場用プロジェクタを除く。) ■電子黒板は、地デジアンテナを接続する。 ■各年度における教室数の増減により、当該機器類は学校間で移設を行う場合がある。

市内の小学校25校の普通教室、理科室、音楽室、特別支援教室に、電子黒板・書画カメラ等を整備します。(中学校の電子黒板の整備は、平成28年度を予定)

■ソフトウェア類

<p>デジタル教科書類 (小学校25校=校内フリー)</p>  <table border="1"> <tr> <td>国語 1~6年生</td> <td>算数 1~6年生</td> </tr> <tr> <td>社会 3~6年生</td> <td>理科 3~6年生</td> </tr> <tr> <td>音楽 1~6年生</td> <td>生活 1~2年生</td> </tr> </table> <p>■中学校は平成28年度に整備予定</p>	国語 1~6年生	算数 1~6年生	社会 3~6年生	理科 3~6年生	音楽 1~6年生	生活 1~2年生	<p>学習者用ソフトウェア (小学校25校=校内フリー)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■映像データベース ■問題データベース ■xSynca、xSynWeb会議システム ■ネットモル教材 ■デジタル掛図、学習探検ナビほか
国語 1~6年生	算数 1~6年生						
社会 3~6年生	理科 3~6年生						
音楽 1~6年生	生活 1~2年生						
<p>校務支援システム (小・中学校35校)</p>  <p><主な機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ■名簿情報管理 ■出欠席情報管理 ■指導要録作成 ■成績処理 ■通知表作成 ■保健管理 ■調査書作成 ■徴収金管理 ほか ■グループウェアは整備済(ミライム) 	<p>クラウドシステム</p>  <p><主な機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ■デスクトップ仮想化 ■テレワーク ■PC教室のクラウド化 ■セキュリティリスク軽減 ■運用経費の削減 <p>※個人情報に係るデータはセンターサーバー運用</p>						

電子黒板に付随するデジタル教科書、学習者用ソフトウェアを整備するとともに、校務支援システム、教育クラウドを構築します。(中学校へのデジタル教科書の整備は、平成28年度を予定)

3 校務の情報化について

グループウェアの活用による校務情報化と校務軽減について 『学校用グループウェア ミライム』

西条市では、平成23年度より学校用グループウェアの「ミライム」を導入しています。先生方を中心とする「西条市立小・中学校情報化推進委員会」での検討会にて、ミライムが市場のグループウェアの中で、見た目や使いやすさが最も優れていると判断し決定しました。導入当初より積極的に活用を行い、現在は会議にかかる時間の大幅な短縮やペーパーレスでの会議が実現しています。学校現場からは「大変便利になった」「無くてはならないものになった」という報告が数多く挙がっており、活用が浸透していることがわかります。

(1) 機能と主な利用例

○トップ画面（一画面）から、行事（年休・出張情報）、連絡事項を確認しています。

The screenshot shows the main dashboard of the 'Miraimu' system. It includes a calendar for October 2015, a list of school events and holidays, a message board, and a reservation table for school facilities. Callouts point to specific features:

- スケジュール**: 行事/出張/年休の管理, 学校日誌の印刷
- 掲示板**: 校内/教育委員会からの全体連絡
- メッセージ**: 個人/グループ間、教育委員会との連絡
- 他システム起動**: WEBサイト、様式集、職員室フォルダ、保護者メール等
- 施設設備予約**: 施設/設備の予約管理, 代教管理など

※他に、外部メール機能などもあります。

(2) 各機能の活用事例

ア スケジュール機能

行事・年休・出張の管理や、学校日誌の印刷に利用しています。全校が各校独自の行事予定(Excel、一太郎等)を一括で取り込んでいます。職員室の行事黒板への転記や配布の運用を廃止している学校もあります。さらに、年休・出張者などの必要な情報が反映された学校日誌をミライムから西条市のフォーマットで出力して印刷しているため、学校日誌にかかる時間は手書きの頃より大幅に軽減されています。

また、教育委員会では各校が取り込んだ行事予定を全校一覧で確認できるので、行事予定表(紙面)を各校から毎月集める運用は廃止しています。スケジュール機能の利用により各校と教育委員会で、行事管理の負担が軽減され、共有化が促進されています。

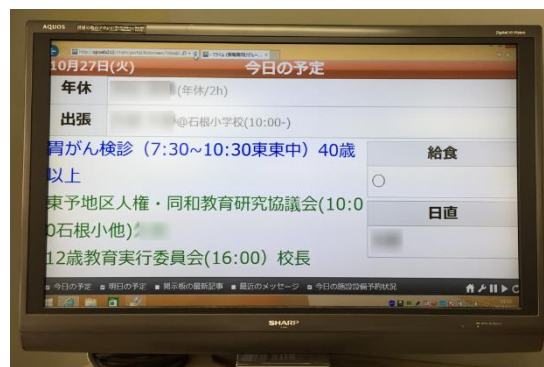
○今日の予定・明日の予定

トップ画面から朝は必ず行事等の情報を確認しています。



○大型テレビ表示

職員室の大画面テレビからも行事を確認できるようにしています。



○1か月の予定

スケジュール項目名を各校独自の名前に設定し『時間割』や『提出物の締め切り』の確認などに利用しています。

2016年度 中学校の2015年10月の予定

日付	時間割	校内行事	校外行事(出張等)
10/01(木)	短1短2短3 短4短5短6	5分短講授業	入学説明会(11:30城南) 情報化推進委員会(13:30市役所) 校長 事務共同実施業務主任会(14:00市役所)
10/02(金)	短1短2短3 短4短5短6	5分短講授業 特別支援野外活動(8:00) 教育事務所訪問(14:00校務) 職員会議15:45 反省会18:30 66	
10/03(土)			秋季運動会(9:30)

時間割や提出物の締め切りにも利用しています。

2016年度 中学校の2015年10月の予定

日付	提出物・その他	行事予定	出張等
10/01(木)	今迄特進入学説明会	1 5分短講授業(弁当) 2 テスト発表 3 文化祭係会 123456	事務共同実施(14:00西安小) 東予地区中学生新人ソフトテニス大会準備会(19:00新屋浜西)
10/02(金)	人権ボスター人権講話 緊急感染症状況(業務) 胃がん検診計画(業務) 地域スポーツ人材活用	1 平常授業 2 特別支援学級野外活動(レオマワールド) 123456 事務情報班(14:00図書室) 新人靴反着会(18:30五味島)	第70回国民体育大会和歌山陸上競技支援指導(校長) 人権ボスター人権講話(15:00丹原文化会館)
10/03(土)		連休日 体育館貸与(雨天時北保育所) 東予中学生新人ソフトテニス大会	第70回国民体育大会和歌山陸上競技支援指導(校長)

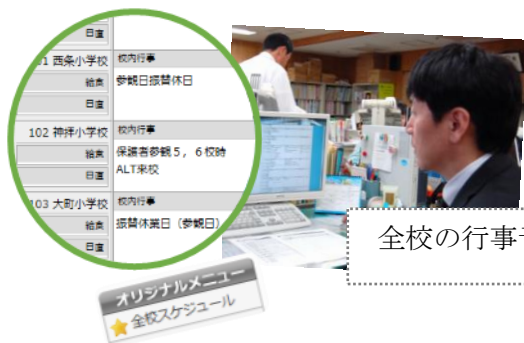
○他校の予定

校外行事	101 西条小学校
	102 神拝小学校
	103 大町小学校
	104 玉津小学校
	105 飯沼小学校
教科研修会 小学校算数部会 16:00大町小	
学校名をクリック	
	110 高田小学校
	111 壬生川小学校

学校間での行事確認や日程調整に活用できるよう、他校の行事や教育委員会の予定も確認できるようにしています。

○全校の予定

メーカーが西条市の要望を取り入れ、行事予定の全校一覧表示と校長による承認機能を開発してくれたので、月行事予定表を紙面で回収する運用を廃止できました。



月行事の承認状況 (2015年10月)

承認済	西条小学校	承認済	神拝小学校
承認済	大町小学校	承認済	玉津小学校
承認済	西条小学校	承認済	飯沼小学校
承認済	高田小学校	承認済	神拝小学校
承認済	大町小学校	承認済	玉津小学校
承認済	三芳小学校	承認済	飯沼小学校
承認済	壬内小学校	承認済	丹波小学校

校長承認の確認画面

全校の行事予定の確認

イ 掲示板機能

口頭による連絡をやめ、掲示板機能を利用することで、朝の会議が平均5分以上短縮できています。30秒程度で朝の会議を終えている学校もあります。その結果ゆとりをもって朝学習や1時間目に臨めるようになっています。

また、紙を印刷して配布する必要が少なくなったことで、紙の利用やトナー代が大幅に節約できています。これら費用面の効果だけでなく、いつでも情報を発信・確認できたり、未読者がひと目でわかるといった安心感も、掲示板機能が活用されている理由です。

○掲示板記事の実例

校務支援システム

2回の会で、自分なりに分かったことをお知らせします。

- ・12/24 普通教室、理科室、特別支援教室、音楽室、体育館にICT機器が導入されます。
- ・電子黒板は、外国語活動室にある、足つきタイプで、大きいです。置き場所・・・(仮)
- ・支援学級には、通常学級の書画カメラの扱いで、一人一台、iPad!・・・残念ながら、担任用はありません。

研修に参加した教職員からの報告

ICT支援員さんは、平成31年3月まで、それまでに自立できるよう、がんばりましょう。

年末調整について

机上に年末調整の各種申告書を同封した封筒を配布しています。

配布した封筒ごと提出してください。

※マイナンバー制
平成28年分 扶
養から指示があ
今回の封筒には同封していませんので、ご承知おきください。

年末調整の案内

スピーカーについて

黒板に書いていたようなことも。

パソコン室のスピーカーを、借りています。
来週まで、1年生の教室に置かせてください。
よろしくお願ひします!

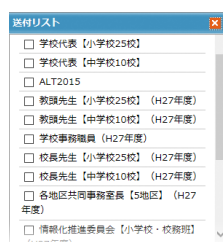
この記事へのコメント:0件 [コメントを書く]

ウ メッセージ（イントラメール）

メッセージ機能は、個人やグループ（校長会・事務職員部・各種委員会等）での連絡に利用しています。電話やFAX、電子メールより格段に効率的であるため、西条市では役割に関係なくほとんどの教職員が日頃から活用しており、非常に高い利用率となっています。受信通知を携帯電話で受け取ったり、未読者を確認したり、自動的に指定時間に相手に届くといった細かな仕組みもフル活用しています。

教育委員会から担当者への連絡も、運用ルールに従って有効にメッセージを活用しています。

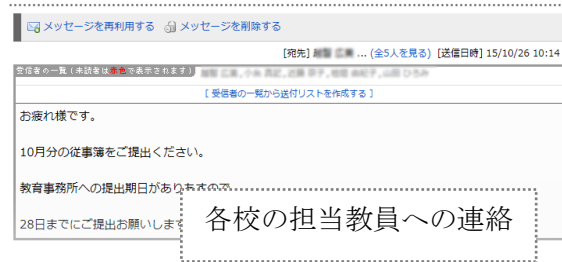
○グループ送付リスト選択画面



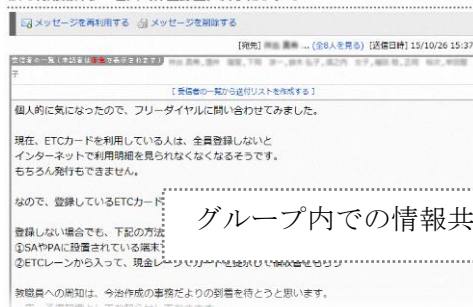
グループ内の教職員を一度で宛先に指定できる仕組みも、全教職員が利用できるようにしています。

○メッセージの実例

主任手当従事簿・特別支援教育従事簿の提出について（お願い）



ETC利用紹介サービス（非登録型）終了について



エ アンケート

教育委員会からの調査・統計の他、校内・グループ間などのあらゆるアンケートに利用しています。教育委員会では、ミライムの機能の中で一番好評な機能と言われているほど有効に活用しています。

校内では、行事の反省や学校評価、諸手当の調査、催し物の出席確認などに利用し、グループ間では、委員会の出席確認や研究授業後のアンケート、会議や研修の日程を決定するためのアンケートに利用しています。

教育委員会からの調査・統計が効率的におこなえるようになっただけでなく、学校側も回答が簡単なので、教育委員会と学校の双方の負担が非常に軽減されています。全校の回答が揃うのがいつも早いので先生方には感謝しています。

○校内アンケートの実例

『7/8まで』研究推進会（県大会分科会）の開催日程について

結果をダウンロードする | アンケートを再開始する | 印刷する | 複製して再利用する

※回答可能な日を継続してください。→結果をダウンロードする

開催日時	参加人数	回答率
7/22 AM	3/6	50%
7/22 PM	1/6	16%
7/23 AM	3/6	50%
7/27 PM	3/6	50%
7/27 AM	3/6	50%
7/31 AM	5/6	83%
8/6 AM	6/6	100%
8/6 PM	1/6	16%

上記日程で参加出来るが、まだどうかわからない日はありますか？→結果をダウンロードする

7/22は、身体で参加が難しいのですが、身体を預ける予定にしています。・・・、ごめんなさい。
8/4日、8/6日、など別の日程も参加出来るのであれば希望しています。
※他の希望と重複しませんが、こちらも希望しています。よろしくお願ひ下さい。 (匿名希望)

開催日決定のためのアンケート

『学校事務に関するアンケート調査（ご依頼）』のアンケート結果

結果をダウンロードする | アンケートを再開始する | 印刷する | 複製して再利用する

【質問1】今年度から市費予算を効果的に執行するために、共同事務室へ一掃送されることになりました。このことにより、学校の単位から共同事務室単位の予算配分となり、より数割で効果的な執行が期待されています。各部署では、昨年と比較して、教育活動を支える予算等という観点で有効に執行されていると感じますか。→結果をダウンロードする

回答内容	人数	割合
有効に執行されている	64/70	77%
昨年と変わらない	6/70	11%
有効に執行されていない	3/70	2%
よくわからない	5/70	7%
(選択なし)	0	0%

※回答者の性別は表示されていません。

【質問2】【質問1】で選んだ選択肢のように感じる理由をお聞かせください。→結果をダウンロードする

本校は、学習環境に恵まれて、特別支援学級設置まで専任職員と教員で支援体制をもち、3学期に入って共同事務室設置以降は各校の現状を踏まえて、より効果的な予算配分に向けて取り組むことで、学校の発展に貢献したいと考えています。

管理職へのアンケート

年度末の諸手当等確認について【回答期限：2月17日】小松小学校

【所属】111 ... (全25人を見る) 【送信日時】15/02/23 08:03

教職員の皆様へ、
年度末は人事異動や進学、就職等により、
家族状況の変化等が多く、認定や取組手当続き等が急務な時期です。
年度末、年度始めに項目ごとの適正に諸手当が付されるよう、
共同事務室と連携を進めていきたいと思っております。
2月が諸手当受入の最終日となります。
以降、申告忘れがあった場合、
年度をまたいだ不適正受給となることもあります。
諸手当等は先方からの申告に基づいて手続を行っております。
十分にご家庭で確認して、正確な情報をご回答ください。
【回答期限】2月17日（火）
【注意事項】・各共同事務室委員のみ回答結果を見ることが出来ます。
他の先生方に個人情報が知られることはありませんので、
安心してご回答ください。
・急務なことでも、お教えください。
・アンケート終了後も家族状況に変化があれば、その都度お知らせください。

中部地

諸手当の調査

扶養手当についての問題です。H26.2.5 吉井小編

【所属】中部地 ... (全25人を見る) 【送信日時】15/07/23 11:45

テキストを参考に回答をお願いいたします。
期間があれば、ご自分の扶養手当支給額も確認してみてください。

出前授業研修(手当編)アンケート H26.2.5 吉井小編

研修が多忙中、出席確認を厳密に行うことができませんでした。
今後の研究の参考とさせていただきますと考えておりますので、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

扶養手当について(1)(必須)
大学生の子がアルバイトを始めた。月8万円の収入予定であったが、アルバイトの総額が月の収入の平均が1万円となった。扶養手当の取り扱いはどうか？
○ 取り消す必要はない
○ 取り消さなくてはならない

扶養手当に
問1の字は
らないか？
○ 許し
○ 許し

扶養手当に
「扶養手当の支給額が1万円未満」という条件を厳格に適用する必要がある。今後の研究の参考とさせていただきますので、よろしく、お願ひいたします。
また、お気づきの点があれば、お知らせください。

←研修中の理解度テスト
研修会後のアンケート→

○教育委員会から学校への調査の実例

【24040】AED定期点検表及び結果報告書(11月分)

【所属】中部地 ... (全25人を見る) 【送信日時】15/02/23 08:31

各小・中学校
AED定期点検表及び結果報告書ご担当者様
いつもお世話になっております。
11月分のAED報告書を行いますので、期限までに回答を
よろしくお願ひいたします。
送信期限：平成27年11月10日（火）

公共施設代表者名(必須)
校長名を記載してください

点検実施者名(必須)
担当者名を記載してください

点検日(年月日)(必須)
[送信日時]15/02/23 08:31

AED調査

平成27年度第2学期の始業式について

【所属】中部地 ... (全25人を見る) 【送信日時】15/08/28 17:55

各小中学校長様
2学期が始まります。
始業式の報告をお願いします。
9月1日(火)の午後1時までにアンケートにご回答ください。

始業式は、無事終了しましたか。(必須)
○ はい
○ いいえ

例のように各学年ごとの欠席状況をお書きください。(必須)
例：1年 欠席5名(健康2名、発熱1名) 出席停止1名(インフルエンザ) 2年・・・合計10名
1年女子 1名(発熱1)
1年男子 1名(発熱1)

始業式・終業式の報告

台風15号による学校への影響(施設・設備被害等)に関する調査報告について(8月25日(火)9:00までに報告)

【所属】中部地 ... (全25人を見る) 【送信日時】15/08/25 08:40

各小中学校長様
ご担当者様
このことについて、下記のとおり調査を行いますので、ミラリアアンケートにてご報告ください。
第一報：8月25日(火)9:00までに報告
施設・設備の被害一応、第一報報告後、新たに発見した場合その都度速やかに
上書きでその都度報告してください。

施設・設備の被害状況(省略可)
現在時点で該当する項目に○を入れてください。被害発生後、その都度速やかにご報告ください。
○ A 被害なし
○ イ 被害あり
○ (選択なし)

イを識別した場合、被害状況を教えてください。(省略可)
(例：体育館の雨漏り、校庭の木が2本倒れ。)

自宅等の被害を受けた児童・生徒がいる場合は、
(例：被害を受けた児童の氏名)

台風の被害調査

「西条つ子学びの向上推進事業」学力診断調査の実施人数調査について

【所属】中部地 ... (全25人を見る) 【送信日時】15/10/23 14:29

横記の件について、西教学第1521号にてお知らせしましたとおり小学5年生(国・算)、中学1年生(国・英・数・社・理)を対象として実施することとなっております。
つきましては、テスト用紙の発注をしますため、各学校の学力診断調査の対象人数、クラス数を回答願ひいたします。
【回答期限】10月28日(水)
※クラス数は、実施する教室ごとの数を回答。(教員向け手引き等の関係です。)
※特別支援学校の児童・生徒については、保護者に実施の希望をお聞きの上回答ください。

実施する人数は何人ですか?(必須)
27

実施するクラス数は何クラスですか?(必須)
1

回答を送信

参加希望者の調査

オ 他システムの起動について

ミライムのオリジナルメニューから様式集や保護者への連絡メール、職員室の共有フォルダなどが、全教職員の画面からいつでもすぐに開く仕組みにしており、ミライムを校務のポータル（入口）として利用しています。

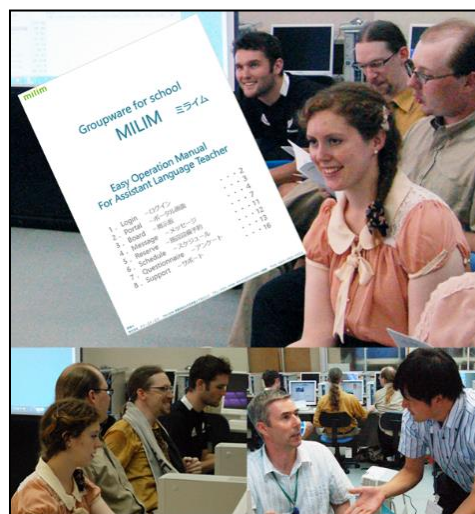
○オリジナルメニューの画面



西条市共通様式集のダウンロード画面

(3) ALT の利用について

西条市では、ALTもミライムを活用しています。これは ALTの方々の、学校に参加したいという強い思いからでした。現在では、ALT 同士の連絡だけでなく、掲示板を確認したり施設を予約したりして校内の教職員として利用しています。ミライムを積極的に活用し、学校に参加してくれているALTの方々、ALT向け研修の実施や英語版のテキストを作成してくれたメーカーに感謝しています。



(4) 最後に

西条市では、前述のように学校現場の全教職員と教育委員会が一丸となってグループウェアの活用を積極的に行っており、学校現場に行くと当たり前のようにミライムを利用している光景を見ても、導入してよかったと実感しています。これからも、教育委員会として、校務の負担を軽減できる部分については小さなことであっても積極的に簡略化したり廃止していきよう、常にグループウェアの運用を改善していきます。

○ミライムに関するお問い合わせ

株式会社ミライム TEL:089-968-6840 MAIL:info@milim.jp HP:<http://www.milim.jp/>

校務支援システムの活用による校務フローの統一化・標準化について
『校務支援システム スズキ校務シリーズ』

西条市では、校務支援システムを平成27年度に導入し、平成28年度当初から市内全ての小・中学校で一斉に運用を開始することとしています。

既に市内の小・中学校の数校でモデル的に運用を開始しており、教職員の負担軽減及び子どもたちとふれあう時間の確保を目指した実証研究を行っており、校務作業や帳票類の簡素化・全国標準化により、様々な校務に改革が起きているところです。

校務支援システムの導入により、効果が見込まれる点について、以下のとおり報告します。

(1) システム化を実施する業務

今回選定された校務支援システムでは、必要な機能を業務区分ごとに選んで導入することができます。西条市では、以下の業務をシステム化することと決めました。

- 名簿作成
- 出席簿作成・出欠状況
- 成績処理
- 通知表作成
- 指導要録作成
- 調査書作成
- 保健室業務

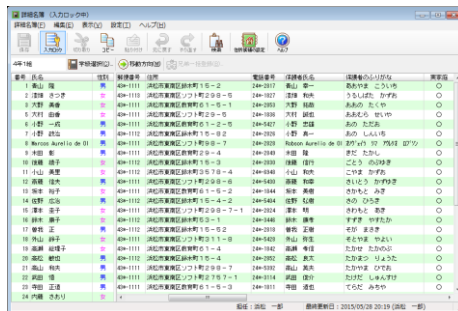
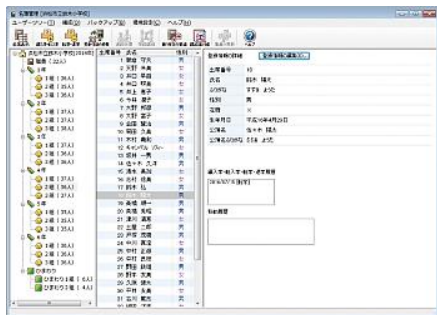


(2) 導入の目的

校務支援システムの導入によって、研究校などの実例などをもとに、具体的な効果が上がった点、見込まれる点について以下の4点が挙げられます。

ア 学習・生徒指導情報の一元管理

校務支援システムを導入することにより、情報が一か所に集約され一元管理されるようになりました。それにより、個々に管理する手間が削減されるだけでなく、児童・生徒の様子なども担任個人に限らず、学校全体で教職員が迅速に確認することができるようになりました。



〈詳細名簿〉付帯情報も学校ごとに項目を編集し一元管理

イ 一元管理したデータを学校経営に活用する

システム上に登録すべき情報等が標準化されることにより、児童・生徒それぞれの出欠状況の把握や、学習状況の把握を行うことが容易になり、迅速かつきめ細やかな教育ができるようになりました。

	欠席率	10	20	%	前日比	在籍	出席	欠席	通欠
1年1組	2.44				+1	41	40	1	
1年2組	0.00				-	40	39	0	
1年計	1.23				+1	81	79	1	
2年1組	0.00				-	38	38	0	
2年2組	2.50				+1	40	39	1	
2年計	1.25				+1	78	77	1	
3年1組	7.50				+2	40	37	1	
3年2組	5.13				+2	39	37	2	
3年計	6.33				+4	79	74	5	

出欠黒板により、出席簿に入力した内容がリアルタイムで確認できます。

ウ 成績処理や通知表・保健管理の標準化

市内統一した校務支援システムを導入することで、成績処理に関する業務が標準化されます。それにより、保護者への説明や進路関係の書類にも信頼性が高まり、かつ迅速に対応することができるようになりました。また、保健室業務を統一することにより、養護教諭の事務負担を減らすだけでなく、児童・生徒に関する様々な情報を一貫してシステム上で管理することができ、スムーズな引継ぎができるようになりました。

エ 校務フローの統一化

統一したシステムを導入することで、校務フローを統一化し、教員の異動があった場合でも円滑に校務に取り掛かれるようになりました。また今回の校務支援システムの導入を契機とし、様々な校務フローを大幅に見直すべく西条市情報化推進委員会を中心に検討を重ねています。このことにより、今まで曖昧だった部分や各個人で行っていた業務などを見直し、児童生徒情報の意見交換や指導に関する検討に当てることができます。

以下、各業務の校務支援システム導入によって具体的にどのように変わるかという内容をまとめました。

名簿作成

従来、教員が個々に表計算ソフトなどで名簿を作成していました。作成や転出入があった場合などの更新作業に約10分～15分程度要していたところが、校務支援システムの導入により各教員が行うことは、必要な名簿様式を選んで印刷するだけになりました。名簿の様式は学校ごとにオリジナルのものを編集することができ、1度作成した様式は校内共通で使えるため、個々に作成する必要はありません。転出入情報も、基幹となる名簿にて登録を行えばすべての名簿に反映されるため、名簿を個々に更新する必要がありません。



〈名簿印刷〉印刷したい名簿を選ぶだけ

出席簿作成・出欠状況確認

西条市では、校務支援システムの導入にあわせて、小中学校の出席簿を統一しました。日単位の出席簿を採用し、記載すべき情報を必要最低限に絞り、作業効率の向上を図りました。校務支援システムの導入により、従来出欠状況の集計や伝達に時間がかかっていた出欠状況確認業務が、登録したい即時自動集計されるようになり大幅な時間短縮が実現できました。更に、連続欠席・累計欠席をしている児童生徒を絞り込み確認することも容易になり、各個人の傾向も容易に把握できるようになりました。

	欠席率	10	20	%	前日比	在籍	出席	欠欠	事
1年1組	244				+1	41	40	1	
1年2組	000				-	46	39	0	
1年計	123				+1	81	79	1	
2年1組	000				-	38	38	0	
2年2組	250				+1	46	39	1	
2年計	120				+1	78	77	1	
3年1組	750				+2	46	37	1	
3年2組	513				+2	35	37	2	
3年計	633				+4	75	74	3	

〈出欠状況〉登録された情報は自動集計

成績処理

従来、成績処理については、教員が個々に様々な方法で算出・出力を行っていましたが、校務支援システムの導入により当該業務が標準化され、作業効率と信頼性を向上させることができました。また、校務支援システムでは評価対象となるテスト結果や日々の成果物（小テストや授業態度など）を点数や段階評価で記録し蓄積することができ、それらを自動集計して評価・評定を算出できます。

<日常的に記録>

テスト結果や日々の成果物
授業の活動などの評価を蓄積

<必要な時期に評価算出>

算定基準に基づき自動集計

通知表・指導要録・調査書

通知表は、作成方法を統一しながらも各校に合わせた通知票を作成できることにこだわりました。通知票は各学校長の権限で変更できる事、その時代に合わせたものを作成しなければならない事、現状維持ではなくより良いものを模索し続ける事が必要と考えており、それが条件でもありました。今回のシステムでは学校ごとに通知表のレイアウトを独自に編集することができます。

保健室業務

養護教諭は各校1人で保健室の管理や学校全体の欠席の管理等を行う必要があり、保健管理システムは必須でした。保健管理システムについては、西条市の養護部会を中心とし、その統一かつ理想的な運用に向けて活発に検討会を重ねているところです。モデル校においても、従来は学校ごと、養護教諭ごとに様々な環境・方法で記録されていた児童・生徒の保健情報を、一貫してシステム上で管理することができ、スムーズな引継ぎができるようになりました。

〈来室記録〉統一された登録フォーマット

○スズキ校務に関するお問い合わせ

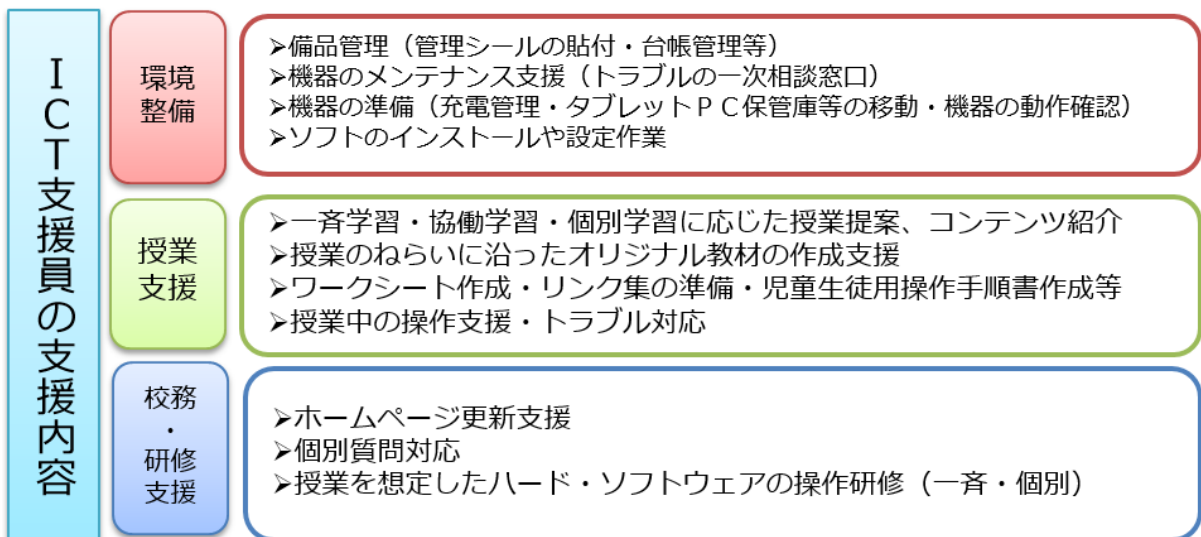
スズキ教育ソフト株式会社 TEL:053-444-0080 HP: <http://www.suzukisoft.co.jp/>

4 ICT支援員について

電子黒板類や校務支援システムなどのICTを有効に利活用するためには、先生のICTの活用指導力を向上させることが極めて重要であり、そのためには、先生にとってのICT活用の敷居を低くすることが必要だと考えています。先生方の準備の負担を軽減し、困ったときにすぐに相談でき、安心して指導にあたることのできる環境づくりをすることが極めて重要です。

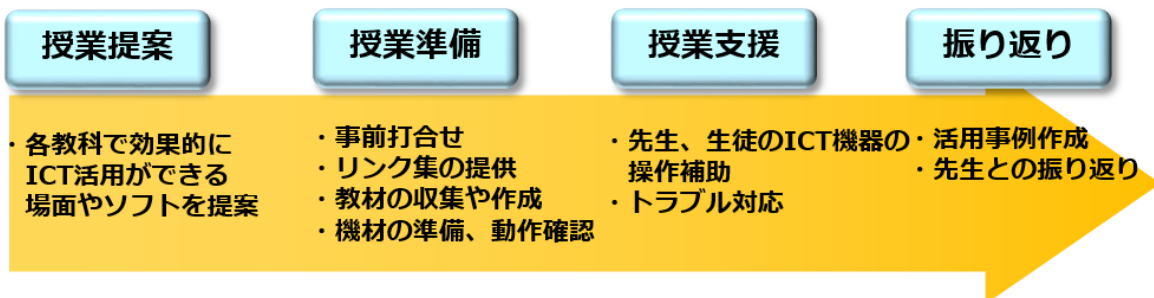
これらの理由から、西条市ではICT支援員を市内の小・中学校に巡回配置することとしました。（中学校は平成28年度を予定）

現在、市内在住者より雇用した8名のICT支援員（派遣委託先として採択された㈱ベネッセコーポレーションが雇用）が、1校あたり月2回～4回程度、1回あたり8時間、それぞれ担当校を定め、各校を巡回しながら支援を行っているところです。



授業支援

電子黒板、プロジェクタ、デジタルTV、タブレットPCを効果的に利活用した授業が展開できるように先進地区、近隣地区での実践事例をもとに、**ICT機器の活用場面、教材紹介、機器の準備、動作確認、授業支援、振り返りを実施**しています。



教材作成支援

ICT活用を行ったうえでの各単元における指導・学習効果という観点を大切にしたい取り組みを行っています。これらの教材・提案書をもとに、各ICT支援員が**各単元における指導・学習効果**という観点を大切にしながら教材作成支援を行っています。

例：小学5年生 算数科 合同な図形

単元のめあてとの位置づけ

ICT教材の活用イメージ

学力調査を元にした難易度情報の提供

校務・研修支援

各学校の導入機器・ソフトウェアにあわせた講習メニューを用意し、**要望にあわせてICT支援員による一斉講習会を開催**しています。また、一斉講習会のみならず、支援員の訪問時には**個別の問い合わせに対応**すると同時に、**簡易マニュアルを作成して渡す**などの支援を行っています。

各学校の導入機器・ソフトウェアにあわせた講習メニューの作成

一斉講習

個別講習

講習項目	講習内容や実施例
電子黒板、デジタルTV等の活用	機器の操作方法や取り扱い方、機能
授業支援ソフトの活用	場面に応じた操作や機能（教材配布、画面送信、巡回機能等）
教材作成のためのソフトについて	教材作成時に用いるソフトウェアの使い方（提示に適した構成等）
教育用ソフト操作	教科ソフトの操作方法や使い方や教材登録など効率的な活用
トラブルシューティング	よくあるトラブルへの対応ができるようになる研修

管理職や情報担当の先生と連携して
校内講習を実施

講習メニューに合わせたマニュアルや
資料作成

○ ICTサポート業務に関するお問い合わせ

株式会社ベネッセコーポレーション TEL:0120-8888-44 HP: <http://www.teacher.ne.jp/ict/>

5 今後の取組について

西条市では、さらなる教育の情報化を推し進めるため、平成27年度からモデル校の神戸小学校において、学びあい学習時等におけるタブレットパソコンの有効な利活用を見出すための検証を行っています。

検証期間は平成27年度～28年度とし、学びあい学習時などでタブレットパソコンを積極的に利活用しながらその成果を見出すものですが、国が定めた第2期教育振興基本計画（平成25年6月14日）では、1校あたり40台程度のタブレットパソコンの整備が目標値として掲げられており、全国的にもその成果が広く認められているところです。

西条市においても、子どもたちの学力の向上を目指し、モデル校での実証をより深めることで効果的なタブレットパソコンの利活用方法を見出していきたいと考えています。

当然、手書きの良さ、じっくりと辞書をひくことも今までと変わらずに大切なことです。デジタルとアナログ、それぞれの良さをしっかりと使い分けながら、西条市の将来を担う子どもたちの「学力の向上」ひいては「子どもたちの生きる力」を育てまいりたいと考えています。

■第2期教育振興基本計画で示された整備目標

教務用コンピュータ1台あたりの児童生徒数	3.6人
各学校の ①コンピュータ教室……………	40台
②各普通教室……………	1台
③特別教室……………	6台
④設置場所を限定しない 可動式コンピュータ……………	40台
電子黒板／実物投影機……………	1学級に1台
超高速インターネット接続率／無線LAN整備率…	100%
校務用コンピュータ……………	教員1人1台
学習用ソフトウェア……………	各PCに搭載
ICT支援員……………	巡回配置

※ ICT支援員の巡回配置については、西条市の整備方針。

VII 新たな取組

人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業

— 平成27年度文部科学省委託事業 —

西条市では、平成27年度文部科学省委託事業「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」の実証地域の一つとして採択を受けました。

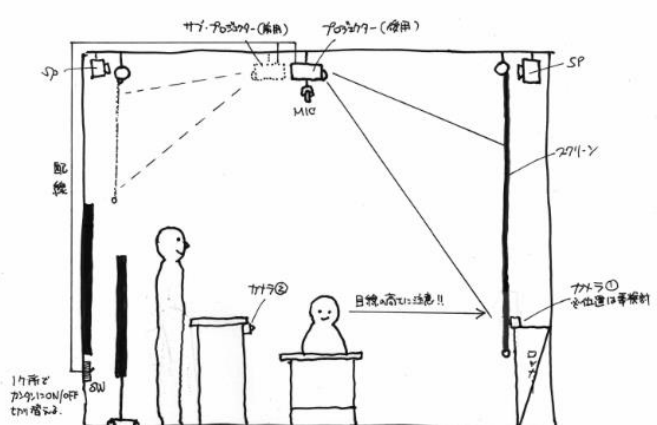
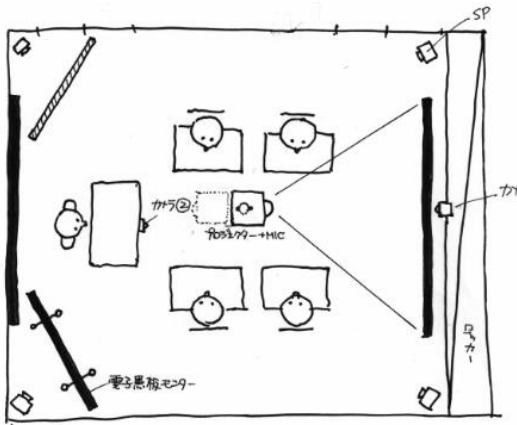
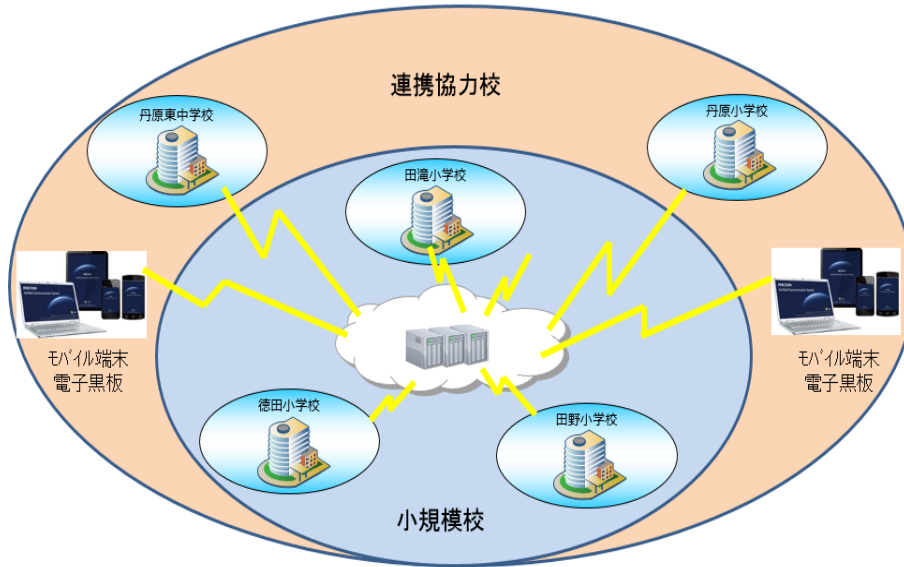
この事業は、学校間の教室を電子黒板等で繋ぎ、大画面のテレビ会議システム等を利用して一つの授業を行い、これにより生まれる効果・価値を見出しながら、子どもたちの学びの充実を図り、小規模校における教育の質の維持・向上を図るといった趣旨の事業です。

昨年度「まち・ひと・しごと創生法」が制定されたことにより、西条市においても今年度「地方版総合戦略」を策定する予定としているところ、戦略の主旨である「人口減少問題への対応」に資する施策の一つとして位置づけています。

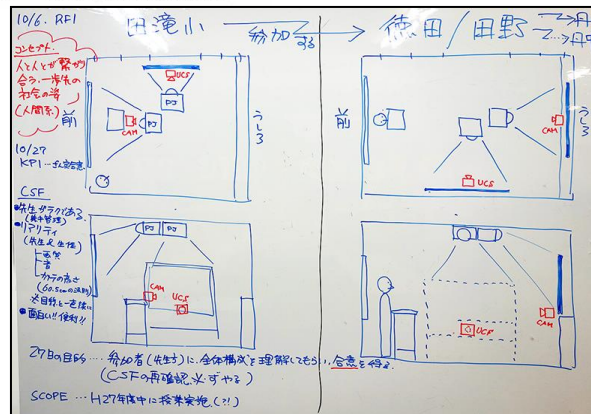
記

- 1 事業名 平成27年度文部科学省委託事業「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」
- 2 対象校 西条市立田滝小学校・徳田小学校・田野小学校
(連携校として、同じ中学校区域の丹原小学校・丹原東中学校)
- 3 実施年度 平成27年度から平成29年度(3年間の予定)
- 4 目的 小規模校および人口過小地域が抱えている課題をICTによって解消する。複式学級を有する小規模校間をICTで結ぶことで、子どもたちの学びの充実を図り、教育の質の維持・向上を図る。
- 5 内容 今年度から市内の小・中学校の普通教室等に設置される電子黒板類を利活用し、各校の教室を仮現実(バーチャル)に繋ぎ、大画面のスクリーンによりお互いの教室の様子を見ながら授業を行う。これにより、子どもたちや先生は、あたかも教室が一つになり、クラスメイトが増えたかのように錯覚を起こさせる。これにより生まれる効果・価値を見出すことに挑戦したい。
- 6 検討組織 対象校の教職員らを中心とした実証検討委員会を組織。鳴門教育大学大学院准教授の藤村裕一先生、東京学芸大学教育学部教授の川崎誠司先生らにも当該委員として参加いただき、アドバイスを受けながら事業を進めている。

■実証イメージ図



1. 通常授業 2. 学びあい 3. 模写授業 優先順位、重要度、難易度...



4年生

新しいなかま登場！
ICT 機器

今までありがとう！
黒板さん！



☆かがやき学習 [守ろう！水]
インターネットで調べ学習



調べたいことを、自分たちで見付けていくことも楽しいね。

5/24 (金)
たぐさんの先払い・神戸
っ子がお世話になりました。
「黒板さんありがとう会」
をしよう。

☆国語科 [説明文学習]
電子教科書で読み取り



デジタル教科書は、みんな
で言葉を手がかりにして関連
を付けやすいよ。
読みもかくにんできる。



電子黒板は、その場でしるし
を付けたり、書き込んだりでき
るからとても便利だよ。

☆体育科 [わくわくマット運動]
PC タブレットで技の確かめ



技のポイントを、タブレット
で説明。チャレンジしながら、
自分の神経をたしかめることが
できるよ。



「使って考えて！」分かる・できる